

## 令和7年度 川越市国民健康保険運営協議会における主な意見

第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険税率の見直しにあたって、改定額も大きくなり、物価高騰もあるが、家族が多い家庭などでは大幅な負担増となる場合もある。本当に実行できるのか、実行した場合、国民健康保険の加入者の生活は大丈夫かという懸念がある。</li> <li>・(税率改定を) 実行したとしても果たして赤字解消になるのかという問題や、医療費等の増加に対し保険税でまかないきれぬのかという問題については、川越市だけでは解決できないのではないかと考えている。均等割額を上げて市民の負担を増やしてはいるが、医療費と保険税収入が均衡していない現状があり、本当に赤字解消を実現できるか不透明だと感じている。</li> <li>・病院の赤字といった話もあり、対応も必要だと思うが、その分を医療を受ける側が全部負担するというのは難しいと思われるので、国の支援も必要だと考える。</li> <li>・社会保険に比べ、国保は同じ所得でも保険税が2倍になっているということは、これまでの運営協議会でも議論されてきたが、子ども子育て支援金制度の創設により、さらに国保制度の矛盾は拡大すると感じているということを感じていると意見を申し上げたいと思う。</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保制度が成り立つには、まじめな人間が馬鹿を見てはいけないということだと思う。困窮されている方が払えない場合には支援が必要だと思うが、払う能力がある方には毅然とした対応が必要だと思う。</li> <li>・生活保護の制度など不正受給などの問題もあり、大変な思いをされていると思う。大変な仕事だと思うが、こういった事をひとつひとつクリアすることで市民の方の理解を得られると考える。</li> <li>・被用者保険の立場で申し上げさせていただく。社会保険の適用拡大により、担税力のある国保被保険者の人数が減ってきている状況で、病院についても、来年度の診療報酬の改定もあり、保険者側から見ると厳しくなるのではないかとされている中、赤字解消については早期に、令和9年までに何とか解消していただきたいと考えている。</li> </ul>
第2回追加(書面)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等からの支援があるなど対策はなされているものの、所得の増加もほとんど見込まれず、医療費負担は年々増加する被保険者に対して増額改定を行うためには、加入者の理解が得られることが必須と思う。</li> <li>・国保税の軽減策として、市独自の軽減策を打ち出すことはできないか。</li> <li>・多子世帯で所得が低い階層ほど、所得に占める保険税の割合は高い。世帯構成や所得階層により保険税負担に開きがあり、公平な税の負担になっているのか疑問である。</li> <li>・同じ所得階層では、協会けんぽと比較すると国保税は2倍も高くなる。</li> <li>・子どもを扶養している人数によって、保険税が増える仕組みが変わらない中で均等割を値上げしていくと、子育て世帯は生活が苦しくなり、少子化は一層進むと考える。</li> </ul>

<p>第2回追加（書面）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の矛盾を抱えたままで、国や県の指導に沿って国保税を値上げしていくと、国保加入世帯の生活が厳しくなる。また、不公平感を温存させる。この矛盾を国が早急に解決すべきである。</li> <li>・現在の国保と社会保険（共済）との違いを、深く理解した上で改定の議論を進めることが必要と考える。</li> <li>・最も大切なことは、保険税率を上げるような場合に、相当数の住民が納得なり理解できるような説明ができるかどうか、ということではないかと考える。</li> <li>・川越市及び同規模の他市における保険税率と標準保険税率の比較により一定の納得や理解が進む可能性があるように思われる。</li> <li>・物価高など、市民の生活が厳しさを増しているような状況にあって、「税負担の軽減」や「給付金の支給」などといったことが議論されていると思われるが、その一環として「国民健康保険の税率」を議論することはできないものかと思う。</li> <li>・市の「厳しい財政状況」「老朽化した建造物等への対応」「市長としての公約の実現」や、その他多くの施策との関係において判断されるべきものとして、政策的な決定が求められていると思う。</li> </ul>
<p>第3回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険は高齢者、年金受給者が多くなっており、物価高騰の中で打撃を受けるのは国保の被保険者だと感じている。そのような中で今回高い保険料の改定となっているので、今後被保険者の方はどうしたら受け入れることができるのかしっかり説明をしていただきたいと思う。</li> <li>・国保の税率が上がることによるメリットデメリットについて、所得階層ごと、特に負担増が大きい階層への説明をもっとしていただきたいと思う。</li> <li>・低所得者層の負担率が高いので、ここを和らげることができないのか。他市では多子世帯の減免を行っているところもあるので、川越市の政策として同様に多子世帯の減免を含め独自の軽減策の検討の余地があるのではないか。</li> <li>・市民の方は必要な医療給付に対して納めている保険税のウェイトが2割程度だということを知らないと思うので、丁寧な説明で国民皆保険制度の理解を促していただきたいと思う。</li> </ul>